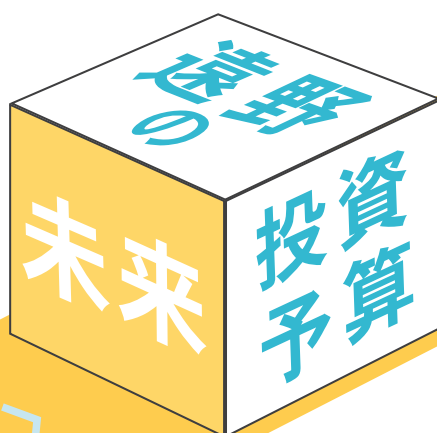


令和5年度 遠野市の予算概要などを紹介します

# もっと知りたい! 遠野の予算

The description Tono city budget.



KOHO TONO  
広報遠野 増刊号

Public Relations Magazine published by Tono city.

## 目次

- P 2\_市長施政方針演述要旨
- P 4\_令和5年度予算概要
- P 8\_大綱別「主な事業紹介」
- P11\_財政健全化の取り組み
- P12\_国民健康保険の税率が変わります

## 令和5年度遠野市長施政方針演述【要旨】

令和5年3月市議会定例会で多田一彦市長が表明した「遠野市長施政方針演述」の要旨を紹介します。

■市長施政方針演述の全文は市ホームページに掲載しています。

遠野市 令和5年度市長施政方針演述 [検索](#)



市ホームページ  
(QRを読み込み閲覧できます)

### 開拓者精神で挑戦

市長に就任して約1年4カ月が経過しました。市民の皆さまと、井戸端会議の場などを通じて対話を重ねながら、日常生活をはじめ、各種産業や福祉・介護、郷土芸能のことなど、市政課題の解決に向け、フロンティアスピリッツで挑戦を始めております。

国内で新型コロナウイルス感染症の初感染が確認されてから3年以上が経過しました。感染拡大防止と社会経済活動の両立が徐々に定着してきたものと捉えております。完全ではないものの、安全・安心な日常が取り戻されつつあります。発熱外来やワクチン接種など、命を守るために最前線で奮闘いただいている医療関係者をはじめ、市民一人一人のご努力の賜物であり、改めて感謝申し上げます。

今春には、国による感染症法上の分類の見直しが行われることから、ポストコロナ社会への段階的移行に向け、新たな日常の創造にチャレンジしていかなければなりません。新型コロナウイルス感染症が市民生活に与える影響を注視しつつ、市民の命と暮らしを守るため、国および県の指針を踏まえながら、引き続き感染対策と経済対策を2本柱に、対策を着実に実施してまいります。

### 令和5年度の当初予算は、 明るい未来実現に向けた「投資型」予算

令和5年度の予算を「遠野の未来投資予算」と位置付け、総額189億5,000万円で編成しました。5年度は、「第2次遠野市総合計画後期基本計画」の3年目の中間年。この2年間の取り組みを検証し、将来像に掲げる「永遠の日本のふるさと遠野」の実現を確かなものとす

るため、第四次健全財政5カ年計画に基づいた自律的で持続可能な財政運営の下、共通優先方針「産業振興・雇用確保」と「少子化対策・子育て支援」をはじめとした取り組みを進化させてまいります。

また、少子高齢化、高度情報化社会の急速な進展や国際化の潮流など、社会の変化にいち早く適応し、遠野の明るい未来実現に向け、新たな取り組みに積極的にチャレンジする「投資型」予算としております。予算の特徴は、将来を見据えた「もの・ひと・こと」への投資です。

【予算の概要は、4ページ以降で紹介します】

### 新しい時代に 確実に適応していくことが必要

社会情勢が急激に変化する時代であり、未来予測が難しいと言われております。一方で、明確な未来予測が可能な部分もあります。ほぼ全ての産業が厳しい状況下にあることを痛切に感じており、今後、さらに深刻化していくことが予測されます。今のままでは、生き残っていくことが難しい時代になります。

行政として必要な支援は当然行ってまいります。同時にこれからの時代に適応した産業構造の改革にも取り組んでいかなければなりません。農林畜産業で言えば、鳥獣被害対策、農地の集約化、飼料・肥料の自給化、経営の企業化・グループ化など。製造業では、半導体デバイス系部品の製造など新たな分野への転換などが挙げられます。これらへの大規模な投資による生産基盤の高度化と人材の確保を進め、新しい時代に確実に適応していくことが必要です。

私たちは、そのための協力体制と集団的な実行力を持たなければなりません。当然、相応の資質と覚悟が

## 地域共創の まちづくりを

行政と地域が、  
さらには市外から遠野を応援してくれる人々が、  
共に新たな価値を創り出していく  
「共創」を進めていく

### 【施政方針とは】

新年度の市政運営に対する考え方や主要事業の方向性について示すもの。

写真\_3月市議会定例会で演述する多田市長

必要です。いち早く変化の兆しを捉え、変化を受け入れながらその先を見据え、必要な施策に取り組んでまいります。したがって行政には、柔軟性と多様性、さらにはグローバルな視点を併せ持ち、必要な決断を迅速に行なうことが求められております。

### 共に新たな価値を創り出す 「地域共創」のまちづくりを

本年1月、各地区の地域づくり大会などに出席させていただきました。それぞれに特色があり、改めて地域の伝統や絆、ポテンシャルの高さを感じることができました。

地域が将来にわたって持続していくため、地区センターを拠点とした小さな拠点による地域づくりによっ

て、健康づくりや地域福祉、防災、交通、産業、人づくりなど、さまざまな分野で地域の活性化が進むことが期待されます。やがては、かつての宿場町のような賑わいを、地域が自ら生み出していくことができると確信しております。

これまでは、地域がそれぞれの特色を出しながら切磋琢磨する「競争」により、地域づくり活動が行われてきました。これからは行政と地域が、さらには市外から遠野を応援してくれる人々が、共に新たな価値を創り出していく「共創」を進めてまいります。

市民の皆さまとの歩みを止めることなく、  
常に未来へ向けてチャレンジし、  
遠野市が発展し続けていけるよう  
「地域共創」の市政運営スタイルで  
取り組んでまいります。



令和5年度当初予算テーマ

# 遠野の未来投資予算

5年度は、「第2次遠野市総合計画後期基本計画(計画期間：令和3～7年度)」の中間年です。過去2年間の取り組みを検証し、遠野の明るい未来実現に向け、新しい取り組みに積極的にチャレンジする「投資型」予算として編成しました。▷未来投資型事業の展開▷産

業振興・雇用確保▷少子化対策・子育て支援▷新型コロナウイルス感染症対策・物価高騰対策——を重要施策とし、各種事業に取り組みます。

また、第四次遠野市健全財政5カ年計画に基づき、自律的で持続可能な財政運営に努めます。

## 一般会計予算総額

**189億5,000万円** 前年度比 **18億4,000万円(10.8%)** **増**

事業数 **4年度 356事業** ▶▶▶ **5年度 365事業**(うち、新規 **26事業**)

## 特別会計予算総額

**71億5,162万円**(前年度比4.3%減)

特別会計	予算額
国民健康保険【保険事業分】	29億3,638万円
国民健康保険【直営診療施設分】	8,922万円
後期高齢者医療	3億7,305万円
介護保険【保険事業分】	36億4,171万円
介護保険【介護サービス事業分】	1,226万円
ケーブルテレビ事業	9,900万円

### 特別会計予算とは？

特定の目的のための予算で、一般会計とは別に会計しています。本市には国民健康保険(保険事業分)やケーブルテレビ事業など特別会計が6つあります。

## 公営企業会計予算 ( )は前年度比

水道事業会計 遠野市の水道に関する予算

収益的収入 ▶ 7億7,901万円(3.1%減)  
 支出 ▶ 8億1,458万円(7.5%増)  
 資本的収入 ▶ 6億6,042万円(6.5%増)  
 支出 ▶ 11億2,286万円(11.1%増)

下水道事業会計 遠野市の下水道に関する予算

収益的収入 ▶ 6億4,974万円(7.4%減)  
 支出 ▶ 6億8,883万円(2.0%減)  
 資本的収入 ▶ 3億 285万円(5.0%減)  
 支出 ▶ 4億9,577万円(5.6%減)

### 公営企業会計予算とは？

民間企業と同じように事業収益を上げながら運営している予算のこと。本市には水道事業会計と下水道事業会計があります。

令和5年度に取り組むこと

# 4つの「主な施策」

**新**…5年度の新規事業を省略標記しています

(※1～4)…11ページで用語を紹介しています

## 01 未来投資型事業

(3事業、2億3,899万円)

将来を見据え、「もの・ひと・こと」の未来に投資し、持続可能で活力あるまちを目指します。▷空き家・空き店舗を活用した地域活性化と併せた移住者の住環境整備▷未来を担う子どもたちの学習環境充実▷証明書のコンビニ交付導入——など、地域課題の解決と市民サービス向上に取り組みます。

### 【主な事業】

- ★ **新** 空き家等リノベーション推進事業費 (※1)
- ★ **新** 地域教育サポート事業費
- ★ **新** D X (※2) 推進事業費



## 02 産業振興・雇用確保

(34事業、11億8,194万円)

産業振興や経済の好循環実現に向けて▷遠野東工業団地のサプライチェーン集積の促進▷遠野産品の新規開発▷企業の魅力発信と人材育成・人材確保支援——などに取り組みます。また、官民連携による観光推進体制の強化と、観光のリニューアルを図ります。

### 【主な事業】

- ★ **新** 外国人材受入支援事業費
- ★ **新** 遠野産品売上アップ推進事業費
- ★ **新** DMO (※3) で新たな観光まちづくり事業費
- ★ 市内企業人材確保推進事業費
- ★ 多様な人材活用推進事業費
- ★ ものづくり産業振興事業費 など



## 03 少子化対策 子育て支援

(12事業、4億2,835万円)

新たに「医療的ケア児等コーディネーター」を配置するなど、妊娠・出産から育児のトータル的な支援充実を図ります。また、▷産前産後ケアなどの充実に向けた検討▷白岩児童センターの新築着手——など、ソフト・ハード両面から、快適に子育てできる環境づくりを推進します。

### 【主な事業】

- ★ **新** 白岩児童センター整備事業費
- ★ **新** 安心子育て・ママの里推進事業費
- ★ わらすっこの療育支援事業費
- ★ 妊産婦あんしんサポート事業費
- ★ すこやか子育て保健事業費 など



## 04 新型コロナウイルス対策 物価高騰対策

(9事業16施策、1億6,401万円)

地域経済の回復・成長を図るため、物価高騰対策と併せて▷市内商店などで利用できる商品券の発行▷飲食店などの割引サービス——などの実施を支援します。品質・生産性の向上や業務効率・省エネルギー化に向け▷スマート農業技術の導入▷D X・G X (※4) に関する設備投資——など新しい支援にも取り組みます。

### 【主な事業】

- ★ **新** スマート農業等支援補助金
- ★ **新** D X・G X (※4) 生産性向上促進事業費補助金
- ★ 学校給食物価高騰対策
- ★ 新型コロナウイルス感染症対策観光振興補助金
- ★ 商い元気回復事業費補助金 など



# 収入

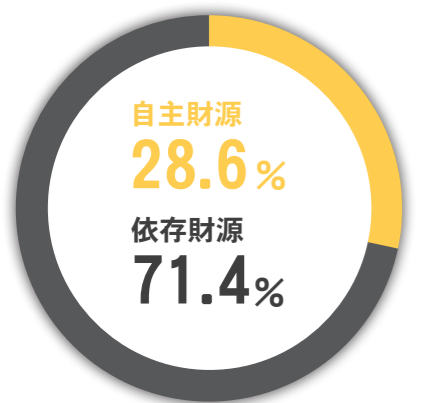
市税や、国と県からの交付金、銀行などから借りるお金など、市に入るお金

一般会計  
予算総額

# 189億 5,000万円

市が各種施策、教育・福祉・医療のほか、道路整備や災害対応などに使うお金

# 支出



## 市税(固定資産税)増えるも依存財源に頼る状況

「自主財源」のうち市税は、特に固定資産税が増え、前年度より1億4,490万円増える見込みです。

「依存財源」は、国の動向や前年度の実績見込額などを勘案し、地方交付税が71億5,733万円(前年度比2億2,064万円減)。国からの支出金は前年度と同じく新型コロナ対策や公営住宅整備に伴う社会資本整備総合交

付金などが増え、24億1,820万円(前年度比3億8,711万円増)。また、市債は鱒沢地区センター整備に伴う過疎対策事業債が増え、前年度比7億230万円増を見込みました。

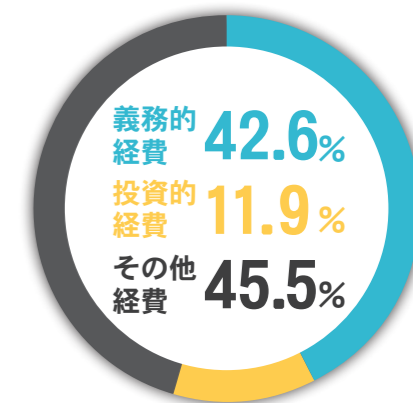
本市の自主財源は全体の28.6%。前年度より1.8ポイント増えています。依然として国・県からの依存財源に頼る財政状況にあります。

## 複数の大型事業により、投資的経費が増加

「義務的経費」は、消防団員の年額報酬増額や保育士の処遇改善などにより、人件費が前年度比9,913万円増、扶助費も1億1,366万円増えています。公債費はプライマリーバランスの黒字化や市債の繰上償還により、前年度比1億2,801万円減となっています。「投資的経費」は、▷白岩児童センターや穀町市営住宅の新築

▷小友小学校舎の長寿命化工事——など、複数の大型事業を予定し、普通建設事業費が前年度比10億8,958万円の増となりました。

「その他経費」は、物価高騰などによる業務委託料の増、電力価格高騰による光熱水費および指定管理料の増などを見込み、前年度比2億3,615万円の増となりました。



### ①市税

28億5,056万円 市に収められた税金

### ②繰入金・諸収入など

25億6,496万円 施設の使用料や基金(貯金)の取り崩しなど

### ③地方譲与税・地方消費税交付金・地方交付税など

82億6,566万円 皆さんが国に納めているお金の一部

### ④国や県からの支出金

36億9,742万円 使い道が決められている国や県からのお金

### ⑤市債

15億7,140万円 銀行などから借りるお金

自主財源(①②)とは、市が自ら得ることのできる収入のこと。

自主財源

依存財源(③④⑤)とは、国や県の基準に基づいて交付されたり、割り当てられたりする収入のこと。

依存財源

### 義務的経費

- ①人件費 30億6,537万円 市職員の給料や議員報酬など
- ②扶助費 28億8,903万円 生活保護、障がい者の支援、福祉や医療
- ③公債費 21億2,811万円 市の借金返済

### 投資的経費

- ④普通建設事業費 21億9,520万円 道路の整備、公共施設の新築など
- ⑤災害復旧事業費 5,000万円 自然災害などの復旧

### その他経費

- ⑥物件費 38億9,264万円 電気・水道や事務用品など
- ⑦補助費等 20億327万円 各種団体への補助金や負担金など
- ⑧繰出金 13億1,220万円 特別会計予算など
- ⑨積立金など 14億1,418万円 基金(貯金)への積立など

市民一人あたりの年間経費 ▶ 総額 757,001円 ※( )は前年度との差額。本年1月31日現在の人口25,033人で算出しています。

【金額順】 costs

<p><b>民生費</b> 高齢者や子どもの福祉などに 206,262円 (+21,256円)</p>	<p><b>総務費</b> 市役所の管理・運営などに 105,913円 (+5,639円)</p>	<p><b>教育費</b> 学校や社会教育などに 101,325円 (+29,007円)</p>	<p><b>公債費</b> 借ったお金の返済に 85,012円 (-3,529円)</p>	<p><b>衛生費</b> 病気の予防やごみ処理などに 63,010円 (+6,160円)</p>	<p><b>農林水産業費</b> 農業、林業、畜産業などの活性化に 55,245円 (+2,367円)</p>	<p><b>土木費</b> 道路や公園などの整備に 54,497円 (+9,959円)</p>	<p><b>商工費</b> 商業、工業の振興に 51,023円 (+14,832円)</p>	<p><b>消防費</b> 消防・防災、救助活動に 23,878円 (-490円)</p>	<p><b>議会費</b> 議会の運営に 5,944円 (-104円)</p>	<p><b>労働費ほか</b> 雇用の拡大・定着などに 2,895円 (-4円)</p>	<p><b>災害復旧費</b> 災害の復旧などに 1,997円 (+427円)</p>
---	---	--	---	---	---	---	--	---	---	--	---



# 大綱別「主な事業」

令和5年度の新規事業や主な事業を、市総合計画の5つの大綱ごとに紹介します。

大綱とは…農林畜産業や教育、地域づくりなどを5つの分野に分けたもの。  
市は、大綱ごとに事業や指標(目標値)を設定してまちづくりを進めています。

- 大綱1**  
▷環境保全▷再エネ▷道路▷防災▷情報通信▷総合交通 など
- 大綱2**  
▷保健▷医療▷福祉▷生涯スポーツ▷子育て支援 など
- 大綱3**  
▷農林畜産業▷商工業▷産業振興▷観光▷国際交流 など
- 大綱4**  
▷就学前教育▷学校教育▷生涯学習▷芸術文化▷文化財 など
- 大綱5**  
▷地域づくり▷男女共同参画▷行政サービス▷行財政 など

## 大綱1 自然を愛し 共生するまちづくり

● **公営住宅整備事業費** ————— 【2億1,439万円】



市営住宅等長寿命化計画に基づき、穀町市営住宅を整備します。

● **小水力発電推進事業費** ————— 【655万円】  
小水力発電導入の可能性を調査します。

● **水道ビジョン推進事業費** ————— 【2億1,337万円】  
老朽化した水道管路の耐震化を推進します。

● **未来へ繋がるごみ減量事業費** ————— 【295万円】  
資源ごみのリサイクルとごみ減量化を推進します。

● **浄化槽設置整備事業費** ————— 【3,741万円】  
浄化槽の設置に補助金を交付します。

● **新エネルギービジョン推進事業費** ————— 【157万円】  
薪ストーブ導入費用を助成し、市内の木材利用を促進します。

● **橋りょう長寿命化整備事業費** ————— 【1億1,230万円】  
長寿命化計画に基づき、橋りょうの改修工事を行います。

● **安心安全な道づくり事業費** ————— 【9,979万円】  
生活に身近な道づくり事業計画に基づき、地域の道路環境を整備します。

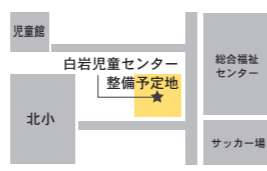
● **消防団出場管理費** ————— 【7,958万円】  
5年度から消防団員の年額報酬を増額し、活動を支援します。

● **消防車両更新事業費** 【2,915万円】  
計画的に消防資機材を更新・整備します。



## 大綱2 健やかに 人が輝くまちづくり

● **白岩児童センター整備事業費** ————— 【2億9,125万円】



老朽化した白岩児童館に代わる、「白岩児童センター」の新築整備に着手します。(6年度供用開始予定)

● **後期高齢者健康増進介護予防事業費** ————— 【400万円】  
高齢者の保健事業と介護予防を一体的に行います。

● **安心子育て・ママの里推進事業費** ————— 【459万円】  
産前産後ケアなどの充実に向けた検討をします。

● **妊産婦あんしんサポート事業費** ————— 【717万円】

市内宿泊施設を活用したデイサービス型の産後ケア事業を継続します。また、ハイリスク妊産婦に待機宿泊費用や通院費助成も実施します。



● **すこやか子育て保健事業費** ————— 【3,792万円】  
▷母子保健指導▷新生児訪問指導や妊婦・乳幼児健康診査時などの相談▷出産・子育て応援ギフトによる経済的支援———を一体的に実施します。

● **わらすっこの療育支援事業費** ————— 【4,880万円】  
心身に発達の遅れがある児童の療育を支援します。

● **自治体連携ヘルスケアプロジェクト事業費** ————— 【7,774万円】

健康寿命の延伸と医療費の削減に向け、ICT技術を活用した健幸ポイント事業を継続します。



● **地域福祉連携推進事業費** ————— 【3,155万円】  
「丸ごと相談員」と「包括化推進員」を継続配置し、地域生活課題の解決体制の強化・充実を図ります。

● **健康スポーツ施設整備事業費** ————— 【2,148万円】



運動公園テニスコートの人工芝を改修します。

● **地域介護予防活動支援事業費** ————— 【1,042万円】  
住民が地域で主体的に行う介護予防活動「通いの場」の運営を支援します。

● **生活習慣病予防プログラム推進事業費** ————— 【8,071万円】  
各種がん検診の実施、人間ドックへの補助金交付などにより、健康増進を図ります。

## 大綱3 活力を 創意で築くまちづくり

● **空き家等リノベーション推進事業費** 【2億500万円】  
空き家・空き店舗のリノベーション(※1)を行う団体を設立し、既存の建物の利活用を推進します。

● **DMOで新たな観光まちづくり事業費** 【1,465万円】  
新しい観光組織体制として、観光地経営のかじ取り役を担う観光地域づくり法人(DMO(※3))の設立を補助し、観光振興を図ります。

● **外国人材受入支援事業費** ————— 【190万円】  
外国人技能実習生の受け入れを支援します。

● **遠野産品売上アップ推進事業費** ————— 【2,310万円】  
新しい遠野産品を開発し売上アップを推進します。

● **ものづくり産業振興事業費** ————— 【2億5,709万円】  
中小企業への融資、利子補給を実施します。遠野東工業団地のサプライチェーン集積を促進するため、企業への家賃補助も行います。

● **若者しごとサポート事業費** ————— 【2,313万円】  
若者の地元就職と地元定住を推進します。

● **遠野産ホップ栽培60周年記念事業費** 【500万円】

遠野産ホップの栽培60周年を記念した事業を行います。



● **新型コロナウイルス感染症経済対策事業費(労働・農林畜産・商工観光関連)** ————— 【1億29万円】  
▷養殖飼料価格高騰対策補助金▷スマート農業等支援補助金▷高い元気回復事業費補助金▷DX・GX(※2・4)生産性向上促進事業費補助金▷遠野市出身学生支援———などを展開します。

● **多様な人材活用推進事業費** ————— 【7,830万円】  
地域おこし協力隊や民間企業などから地域活性化起業人を受け入れ、地域課題の解決などに取り組みます。

● **市内企業人材確保推進事業費** ————— 【2,307万円】  
工場などを見学するオープンファクトリー事業を行い、地元定着を促進します。既存事業所の半導体関連への業態転換も支援します。

# 大綱別「主な事業」

## 大綱4 ふるさとの文化を育むまちづくり

**地域教育サポート事業費** 【2,426万円】  
放課後や長期休業期間に、地域の学習ボランティアなどが子どもの学びをサポートする体制を市内全ての小学校につくります。また、不登校対策としてジョイントスクールを市内各中学校区単位に設けます。ジョイントスクールは、「学習をつなぐ」「心をつなぐ」「生活をつなぐ」絆づくり(居場所・相談)の場。中学校区単位で児童生徒の学びを保障し、不登校や学校生活に不安がある子どもと保護者への相談体制、支援の充実を図ります。

**木の温もりに触れる環境づくり事業費** 【1,334万円】  
遠野北小学校の児童用木製机・椅子を製作します。



**小学校校舎長寿命化改修事業費** 【2億6,413万円】  
小友小学校の校舎を改修します。

**学校と地域の連携・協働推進事業費** 【565万円】  
学校運営協議会制度「コミュニティスクール」を活用し、子どもたちの健全やかな成長を育みます。



**学力向上対策事業費** 【2,125万円】  
標準学力検査を活用し学力向上対策に取り組みます。悩み相談に応じる教育相談員も配置します。

**こども本の森遠野運営管理費** 【2,198万円】  
「こども本の森 遠野」を市民の皆さんや関係機関・団体などと連携・協力しながら運営します。

**重要文化財千葉家住宅整備事業費** 【2億2,675万円】  
国指定重要文化財旧千葉家住宅の恒久的保存・活用に向けた修理工事を継続します。

## 大綱5 みんなで考え支え合うまちづくり

**DX推進事業費** 【973万円】  
来年1月(予定)から証明書類(住民票、印鑑登録証明書)のコンビニ交付を導入するなど、行政サービスのDXを推進します。

**マイナンバーカード推進事業費** 【2,610万円】  
マイナンバーカードを取得するための申請手続きをサポートします。



**道と川の市民協働推進事業費** 【750万円】  
道路清掃や河川清掃活動に対し補助金を交付し、市民協働を推進します。

**小さな拠点による地域づくり推進事業費** 【2億4,359万円】  
各地区への300万円の補助金を継続し、地域の特色を生かした地域づくりを推進します。



**小さな拠点改修整備事業費** 【5,076万円】  
青笹、上郷両地区センターの長寿命化改修工事を行います。

**鱒沢地区小さな拠点エリア整備事業費** 【3億8,711万円】  
鱒沢地区センターを新築整備します。(来年4月供用開始予定)



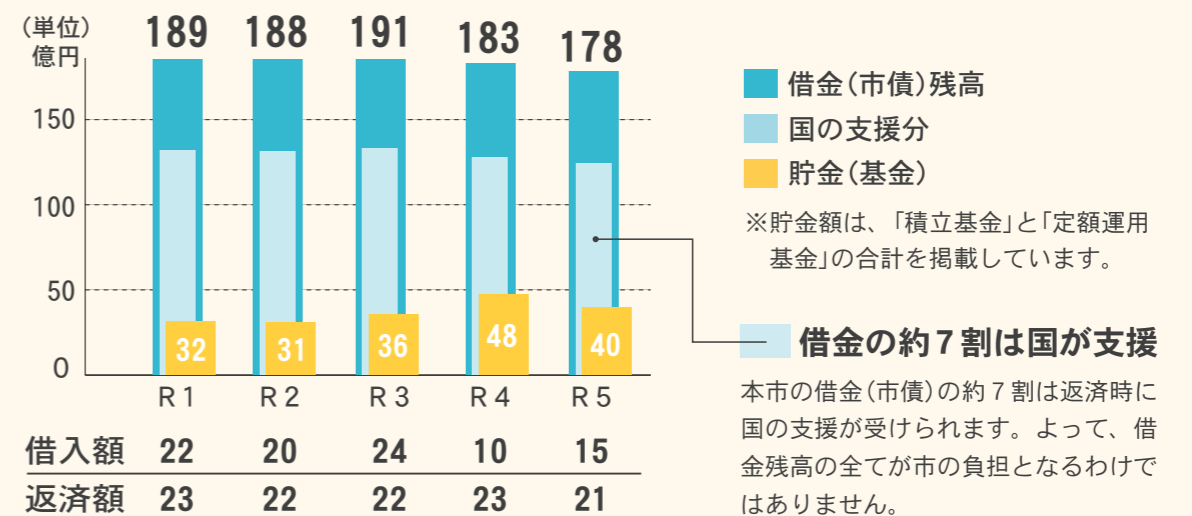
**広域連携推進事業費** 【939万円】  
地域課題の解決と情報発信の取り組みを、近隣自治体と連携して進めます。

## 財政健全化の取り組み

**財**政を健全に維持するために、重要文化財旧千葉家住宅の整備など多額の予算が必要な大型事業には、返済時に国の支援が受けられる市債(借金)を活用しています。これにより、市は借金残高の約3割を負担することとなり、将来の負担を軽減できます。市債残高は、第四次健全財政5カ年計画に基づき、毎年の借入額が返済額を上回らないようにしています。また、借金残高を少しずつ減らしていくよう努めています。なお、令和3年度はケーブルテレビFTTH化整備事業を行う必要があったため、市債が増えています。

令和5年度の予算編成にあたって、ふるさと納税は▷充当事業の明確化▷PR充実などの取り組みにより、歳入として前年比7,360万円の増額効果を見込んでいます。今後も歳入確保に努めるとともに、必要経費の精査、最適な借り入れ方法を選択するなど、持続可能な財政運営を図ります。

### 【図】本市の貯金・借金の推移



### 用語紹介

- (※1) **リノベーション…Renovation**  
「改修、刷新」などの意味。住宅改修で性能や価値を高め、新しく生まれ変わらせる際などに使われる言葉。
- (※2) **DX…デジタル・トランスフォーメーション**  
ICT(情報通信技術)を活用して、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させようとする概念。
- (※3) **DMO…Destination Management/Marketing Organization**  
「観光地域づくり法人」の意味。観光地域づくりのかじ取り役となる法人を表します。
- (※4) **GX…グリーン・トランスフォーメーション**  
化石燃料中心の経済・社会、産業構造をクリーンエネルギー中心に移行し、経済社会システム全体を変革しようとする概念。



市からのお知らせ

令和 - 2023年 -  
**5**年度  
から

# 国民健康保険の 税率が変わります

令和5年度から、国民健康保険(以下、国保)の税率を「表1」とおり改正します。  
加入者それぞれの税額は、7月中旬に市が世帯主へ発送する「納税通知書」で確認をお願いします。

## ■ 税率の改正内容

【表1】税率の新旧表

項目	現在	変更後	比較
平等割 (1世帯あたり)	31,600円	→ 29,800円	-1,800円
均等割 (1人あたり)	32,900円	→ 43,800円	+10,900円
所得割	10.5%	→ 13.1%	+2.6%

## ■ 国保税率の改正要因

国保の事業運営に必要な税収(収入)が不足しているため、令和5年度から税率を引き上げます。国保の税率は本来、3年ごとに見直すこととしていますが、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、令和3年度の改正を見送りました。現在は、不足する収入分を国保の財政調整基金(貯金)を取り崩し運営しています。税率を変えなければ、基金は令和6年度で枯渇し、令和9年度には累積赤字が3億4千万円を超える見込みです。

## ■ 税負担の急増を軽減する「激変緩和」を実施

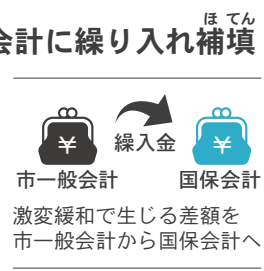
【ポイント】激変緩和の内容

### 01. 段階的に税率引き上げ

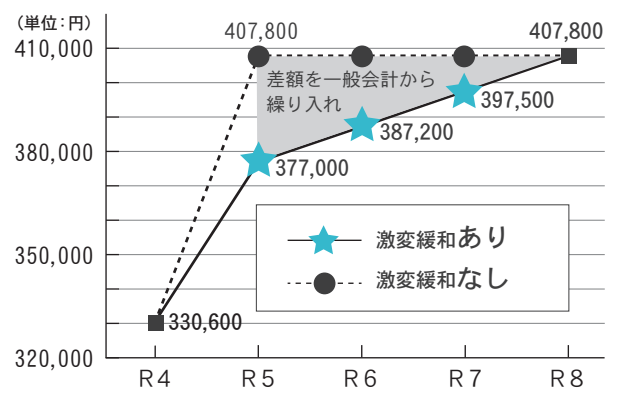
→単年度で税率を切り替えると税負担が急激に増えるため、令和5～8年度の4年間で段階的に引き上げる「激変緩和」を行います(表2・3)。

### 02. 市一般会計から国保会計に繰り入れ補填

→激変緩和による税の差額(表2「▲」部分)は、市一般会計のお金を国保特別会計に繰り入れて補填します。



【表2】令和5～8年度の税額推移(県モデル例)



※表2は、30歳代夫婦と子ども2人の4人世帯(夫:年収400万円、妻:収入なし、子:就学児)を例に作成。

【表3】激変緩和による年度ごとの税率と一般会計からの繰り入れ予定額

区分	5年度		6年度		7年度		8年度	
	税額(率)	前年比	税額(率)	前年比	税額(率)	前年比	税額(率)	前年比
平等割	29,800円	-1,800円	29,800円	±0	29,800円	±0	29,800円	±0
均等割	38,700円	+5,800円	40,400円	+1,700円	42,100円	+1,700円	43,800円	+1,700円
所得割	11.90%	+1.40%	12.30%	+0.40%	12.70%	+0.40%	13.10%	+0.40%
一般会計からの繰り入れ額	約3,500万円		約2,200万円		約1,100万円		0円	

## ■ お願い

国保事業は、加入者の皆さまの保険料(税)でまかなわれており、医療費を抑制する必要があります。積極的に健診を受け、病気の早期発見に努めましょう。